

製品の安定供給

私たちの第一の使命は、お客様が欲しいと思う商品を欲しい時にお届けする事です。そのために、グローバルサプライチェーンを強化し、最新の商品を途切れる事なく供給し続けるように努めています。

製品の安定供給の考え方

製造業にとって、お客様に対する製品の安定供給は、お客様の満足、支持をいただくために最も重要な責任のひとつです。

カシオの独創的製品を通じて、お客様に喜びと感動をお届けする事をミッションとして、以下の方針を掲げています。

■製品安定供給の方針

製品安定供給の方針

1. ITを駆使したサプライチェーン(部材調達～生産～物流～販売～サービス)の合理化による生産リードタイムの短縮と計画実行精度の向上
2. 安定した材料調達の為に必要な部材供給各協力企業との良好な協力関係構築
3. 生産活動における様々なリスク要因への備えとしての2拠点分散生産体制とグループ工場の複数品目対応化によるリスク対応への柔軟性の維持
4. 商品別に地域特性(市場近接性、技術力、部材調達環境、人件費、物流費、為替リスク)に応じた最適な生産分業の体制の構築

需要の変化に素早く対応する供給ネットワーク

電子辞書の学販(学校、先生、生徒)向け商品のように、需要が春先に集中するシーズン商品では販売計画精度を出す事は難しくなります。一方で、基幹となる部品(半導体、表示デバイスなど)の調達リードタイムは市場で決まっています、長期の手配が必要になります。

そこでカシオは、販売チャンスロスを最小限にするためのいろいろな工夫を行い、マーケットシェアの拡大に取り組んできました。

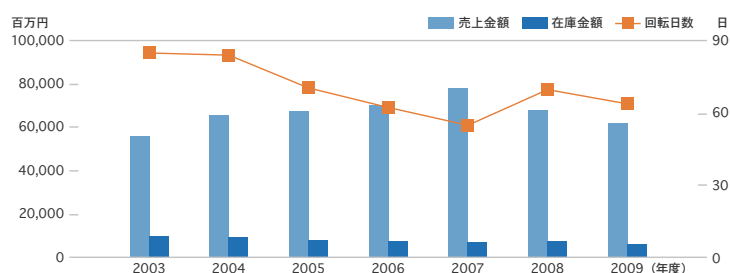
そのひとつが、生産拠点とカシオで平行にサプライチェーンマネジメントシステム(SCM)を運用する事で、シミュレーションのスピードアップを図っています。

営業部門が立案した販売計画に基づき、生産拠点で生産工程能力シミュレーションを行い、人員計画の見直しや必要な設備治工具の手配を行います。同時に、資材調達部門では資材情報(納入情報)と営業の機種優先情報を週次の最新情報で更新し、タイムリーな生産出荷を行っています。

さらに、ベースモデルを共通化(プラットフォーム化)して生産(一次組立)しておき、モデル固有の仕様(辞書コンテンツ、表面パネル、入力キー仕様など)を出荷直前に決定(二次組立)し、短納期でお客様の需要の変化に対応できるようにしました。

従来は出荷の3カ月前にすべての部品調達を行っていましたが、プラットフォーム化により、最終製品仕様の決定を出荷の2週間前までリードタイムを短縮する事ができ、不用資産の圧縮にも貢献しています。

■コンシューマ商品棚卸回転日数



生産リスク分散とコア部品内製化

ひとつの拠点が複数の品目の生産に対応し、どの商品に対しても生産できる拠点を2カ所確保する事によって、安定供給を実行しています。

また、新たに発生する技術の保持および部品の調達リスクを軽減するために部品の内製化の拡大を図っています。

■品目別の生産拠点体制

